



U.S. DEPARTMENT OF THE TREASURY  
OFFICE OF FOREIGN ASSETS CONTROL



Enforcement Release: June 16, 2025

**Unicat Catalyst Technologies, LLC Settles with OFAC for \$3,882,797  
Related to Apparent Violations of Iran and Venezuela Sanctions**

Unicat Catalyst Technologies, LLC, as successor to Unicat Catalyst Technologies, Inc., and its subsidiaries, assignees, successors, and affiliates worldwide (collectively, “Unicat” or “the Company”), has agreed to pay \$3,882,797 to settle its potential civil liability relating to U.S. sanctions on Iran and Venezuela. Unicat is a Texas-based company that sells and consults on catalyst products used in petrochemical refinery and steel mill operations. Between 2016 and 2021, Unicat’s former chief executive officer and co-founder (the “Former CEO”) and former employees and representatives supplied catalyst products and consulting services to customers in Iran and sold goods to a blocked Venezuelan entity. The settlement amount reflects the Office of Foreign Assets Control’s (OFAC) determination that Unicat’s conduct, through its Former CEO and former employees and representatives, was egregious and voluntarily self-disclosed. It also accounts for Unicat’s cooperation with OFAC’s investigation and the remedial measures it undertook after discovering the apparent violations.

The settlement amount also reflects Unicat’s settlement with the Department of Justice (DOJ) and the U.S. Department of Commerce’s Bureau of Industry and Security (BIS). Additional details of the DOJ action can be found [here](#) and the BIS action [here](#).

(写真) OFAC “米企業「Unicat Catalyst Technologies」 制裁規定違反で380万ドルの罰金支払い”

2025年6月16日(月曜)

政治

- 「[米国の対ベネズエラ方針に対する専門家の見解  
～マドゥロ政権は制裁回避システム構築済み～](#)」
- 「[外相 国連で欧米に対して制裁被害の保証要求](#)」

経済

- 「[Conexus スマートフォン同士での決済可能に](#)」
- 「[ドミニカ共和国 ベネズエラ路線再開に待った](#)」
- 「[中銀 両替市場に16.2億ドルを供給](#)」
- 「[Nestlé コーヒー農家1000軒を支援](#)」

社会

- 「[チャカオ市警と国家警察が衝突](#)」

2025年6月17日(火曜)

政治

- 「[全国市長・市議会議員選 出馬受け付け締切  
～野党はUNT・FVが市長選に参加～](#)」
- 「[祖国帰還プログラム サアブ氏妻が代表に](#)」

経済

- 「[CITGO 競売 6月18日に応札締切  
～Amber Energy 競売へ再び参加の可能性～](#)」
- 「[Unicat 制裁規定違反で380万ドルの罰金](#)」
- 「[非石油部門の輸出促進措置 1年間延長](#)」
- 「[OPEC 5月産油量は日量106.6万バレル](#)」
- 「[トルコにてベネズエラ展示会を開催](#)」

2025年6月16日（月曜）

## 政治

「米国の対ベネズエラ方針に対する専門家の見解  
～マドゥロ政権は制裁回避システム構築済み～」

世論調査会社「Datanálisis」のピセンテ・レオン社長は、米国の対ベネズエラ方針について見解を述べた。

「（制裁強化方針は）2019年に実行したが成果を出さなかった」「今は（制裁強化方針が）成功する可能性は更に低い」

「経済制裁が政権崩壊に結びつくことは稀であることは歴史的に証明されている」「制裁を受けて最初に被害を受けるのは国民であり政府ではない」

「国は現状に適応していく」「適応により制裁の効力は減少し、最終的にほとんど効果はなくなる」と指摘。

「ベネズエラもこの教訓と同じ道をたどっており、適応能力を証明した」

「2019年と現在の違いは、マドゥロ政権が石油輸出の手段や必要不可欠な希釈剤の調達手段を既に確立している点である」

「マドゥロ政権はマレーシアなど第三国を經由して中国に原油を輸出し、その収入を国際金融システムの枠外から現金化する手段を構築している」と言及した。

また、Chevronの事業停止によりベネズエラの産油量は著しく減少しないと指摘。

「ベネズエラの現在の産油量の70%は、制裁回避システムの枠組みの中に入っている」

「今後 Chevronの事業停止により生じたスペースは別のサービス事業者が担うことになる」「恐らくベネズエラでの事業リスクを許容できる新たな企業が登場することだろう」

「新たなサービス事業者の多くは、米国の制裁ライセンスを得ていないが、PDVSAとの協力を続ける」

「制裁リスクを加味し、ベネズエラ産原油のディスカウント率は最悪の場合40%を超えるかもしれない」

「ちなみに、PDVSAはChevronがベネズエラ事業で得た産油量の20%を債務返済に充てることを承諾していた」

「初期段階では、適応するためにマイナスの影響が予想されるが、特筆するほど大きなものになるとは考えていない」「また、中東地域の紛争が激化している影響が原油価格に反映され始めている」「現時点で既に原油価格は10%上昇している」「結果的にベネズエラは原油価格上昇の恩恵を受けることになる」

「これらを踏まえると、トランプ政権の圧力政策が成功することは考えにくい」「米国政府はベネズエラについて現実路線で対峙すべきだろう」との見解を示した。

## 「外相 国連で欧米に対して制裁被害の保証要求」

6月16日 Yván Gil 外相は、国連にて経済制裁による被害を訴え、制裁により生じた被害を保障するよう要請した。

「一方的な攻撃措置を科した国々は、この違法な攻撃を直ちに停止しなければならない」

「また、制裁を繰り返さない保証を提供すると同時に、攻撃により被害を受けた国とその住民が被った全ての被害、損傷、損失に対する賠償を負わなければならない」と主張した。

また、「ベネズエラについては、米国および衛星国の欧州諸国がこの10年間で1000回以上も制裁を呼びかけ、実行してきた」「現在、制裁は国家の発展の最大の阻害要因になっており、国民生活、生命を脅かしている」と訴えた。

## 経済

### 「Conexus スマートフォン同士での決済可能に」

「Conexus」は、ベネズエラ国内においてスマートフォン同士を近づけることで銀行決済を可能にする Pago Móvil Interbancario サービスを開発した。

同サービスは「近距離無線通信テクノロジー (NFC テクノロジー)」と呼ばれるもので、迅速かつ容易にスマートフォンで決済ができるという。

Conexus のウェブサイトによると、以下の銀行が Conexus と契約しており、Pago Móvil Interbancario を利用できるという。



Inicio Nosotros Servicios Contáctanos

### Pago Móvil Interbancario



(写真) Conexus

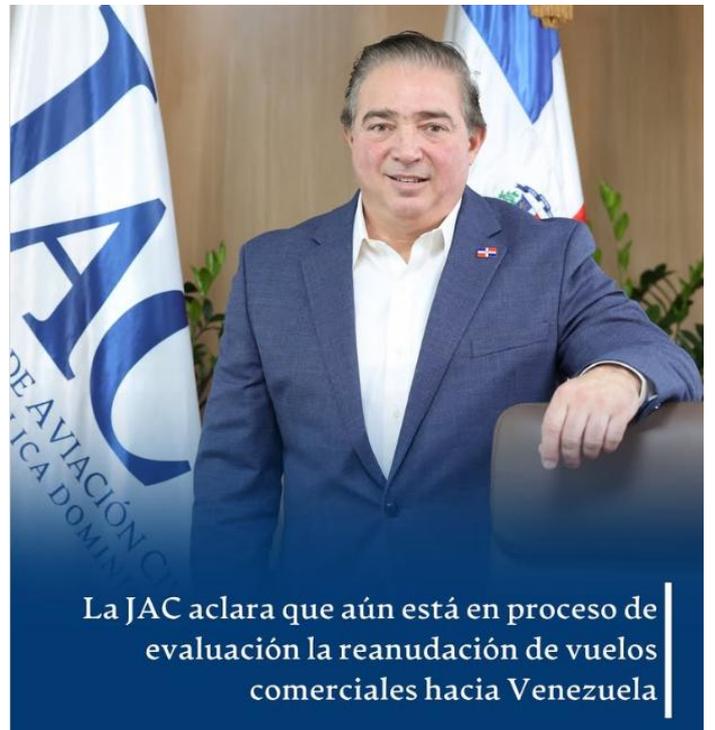
### 「ドミニカ共和国 ベネズエラ路線再開に待った」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1230](#)」にて、ベネズエラドミニカ共和国間の国際線の運航を再開するとの記事を紹介した。

両国路線の再開は、ベネズエラの航空管理当局である「ベネズエラ航空監督局 (INAC)」が発表したものだったが、ドミニカ共和国側は路線再開に待ったをかけた。

6月15日 ドミニカ共和国の航空管理当局である「民間航空局 (JAC)」は、「ベネズエラとの国際線の再開について、国家の利害に基づき検討をしている」と発表。「ドミニカ共和国政府が最終的な決定をするまで両国の路線再開は延期する」との姿勢を示した。

両国の国際線は2024年7月31日から停止しており、今月末で11カ月が経過することになる。



(写真) JAC

“ドミ共航空当局 現時点での国際線の再開を否定”

**「中銀 両替市場に16.2億ドルを供給」**

経済系メディア「Bancaynegocios」は、6月に入ってからベネズエラ中央銀行が2.3億ドルを両替市場「両替テーブル」に供給したと報じた。

Bancaynegociosによると、2025年1月から現在までに中央銀行は16億1900万ドルを両替市場に供給しているという。

前年同期の外貨供給額は18億6300万ドルだったので、前年同期比13.1%減(2億4400万ドル減)となる。

また、6月17日時点の為替レートは1ドル102.16ボリバル。前年同期と比べると2倍近くに(96.69%)上昇している。

**「Nestlé コーヒー農家1000軒を支援」**

「Nestlé」は、Nescafé®ブランドのプログラム「Cultivado con Respeto（尊厳ある育成）」の枠組みで、2014年からベネズエラで1000軒以上のコーヒー農家を支援しているという。

このプログラムは、ベネズエラの中小規模コーヒー農家の生産を支援するためのもので、土地の改質、収穫効率の向上など技術支援を実施するという内容。特にララ州、メリダ州を中心に行っているという。

「Nestlé Venezuela」の Julián Páez 農業開発部長は、「同プログラムで支援を受けた農家の収穫量は1ヘクタール当たり平均40キントルを超えている」とプログラムの成果を説明した。

**社 会****「チャカオ市警と国家警察が衝突」**

6月16日 チャカオ市ロス・パロス・グランデス地区にてチャカオ市警と「国家警察（PNB）」による警察官同士の争いが起きた。

ベネズエラ人記者 Mario Villegas 氏は、自身のソーシャルメディア・アカウントで抗争の様子を投稿。状況的には、暴れる国家警察をチャカオ市警が抑えているという。ただし、衝突の原因は不明だという。

ベネズエラでは、各市が市警を抱えており、それ以外に国家警察（PNB）や公安部隊（SEBIN）や国家防衛隊（GNB）など様々な治安組織が存在するが、これらの組織の関係はあまり良くないと言われている。



(写真) @mariovillegas

**2025年6月17日（火曜）****政 治****「全国市長・市議会議員選 出馬受け付けを締め切  
～野党は UNT・FV が市長選に参加～」**

6月17日 「選挙管理委員会（CNE）」は、7月27日に予定している全国市長・市議会議員選の出馬受け付けを終了したと発表した。

元々、出馬受け付け期限は6月13日の予定だったが、13日当日に締め切り日を6月17日に延長していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1230](#)」）。

エルビス・アモロソ代表の説明によると、今回の全国市長・市議会議員選では、335の市長と2471の市議会議員を決定することになるという。

なお、同日は市長・市議会議員選と併せて、コミュニオン選挙（各コミュニオンで行う地域プロジェクトを決めるための選挙）も実施することになる。

また、野党グループについては「新時代党（UNT）」と独立野党「隣人の力（FV）」が出馬申請を行ったことは確認されている。

エンリケ・カプリレス元ミランダ州知事は、市長選については特筆するようなコメントをしておらず、積極的に投票を呼び掛ける意思はないように見える。

また、カプリレス元知事と関係が強いとされる政党「Union y Cambio（通称 Unica）」は、UNTの候補者を支援するメッセージをSNSで投稿しているが、独自の候補者は出馬させていないように見える。

#### 「祖国帰還プログラム サアブ氏妻が代表に」

ベネズエラ外務省は、マドゥロ政権が勧めているベネズエラ移民の帰還プログラム「Vuelta a la Patria（祖国への帰還）」の代表者に Camilla Fabri de Saab 氏を任命すると発表した。

Camilla Fabri de Saab 氏は、2020年6月にカボベルデで拘束され、2021年10月～23年12月まで米国で拘束されていたアレックス・サアブ氏の妻（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1003](#)」）。

アレックス・サアブ氏は、米国の経済制裁回避スキームを作った人物とされており、現在は、マドゥロ政権の国内生産・工業相を務めている。



（写真） Sumarium

#### 経 済

「CITGO 競売 6月18日に応札締切

～Amber Energy 競売へ再び参加の可能性～」

ロイター通信は、CITGO 競売（正確には CITGO の 100% 持株会社である PDV Holdings の競売）が最終局面に入っていると報じた。

CITGO 競売は、8年前にカナダの金開発会社「Crystallex」が接收賠償金を回収するために始めたもので、その後、ベネズエラ政府・PDVSA のデフォルトを受けて、多くの債権者が同競売に加わるようになった。

現在、CITGO 競売をもって債権回収が許可されている企業の合計債権額は約190億ドルになっているが、CITGO の競売で全額を返済することは不可能とされている。

現時点で「Contrarian Funds」の関係会社である「Red Tree Investment」が37億ドルの入札を行っており、この価格を最低価格として競売が行われている。

競売の締め切り日は6月18日。

現時点で「Vitoil」や「TPG Angelo Gordon」が競売に参加する可能性が報じられている。他、「Gold Reserve」「Rusoro Mining」「Kochi」が企業コンソーシアムを組んで競売に参加するとされている。

また、前回白紙に戻った競売で落札者として選ばれた「Elliott Investment Managemene」傘下の「Amber Energy」が再び応札を行う可能性も報じられている。

CITGO競売は2度競売が行われたが2回とも白紙に戻り、今回は3度目の競売になる。

「Amber Energy」は2度目の競売で落札者に選ばれた企業である。

2024年 米国デラウェア州裁判所は73億ドルで「Amber Energy」がCITGOを落札したと発表（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1122」](#)）。

しかし、債権者との交渉が難航し、「Amber Energy」は応札額を73億ドルから53億ドルに減額。

20億ドルを一部の債権者に直接返済するようなスキームに変更するよう求めた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1140」](#)）。

これを受けて競売は混乱し、結局デラウェア州裁判所は3度目の競売を行うことを決定（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1156」](#) [「No.1161」](#)）。現在、3回目の競売プロセスが行われている。

### 「Unicat 制裁規定違反で380万ドルの罰金」

米国の「外国資産管理局 (OFAC)」は、「米国企業「Unicat Catalyst Technologies」がイラン・ベネズエラ制裁規定に違反したことで388万2797ドルの罰金を支払うことで合意した」と発表した。

Unicat Catalyst Technologies は、石油化学精製や製鉄所で使用される触媒製品を販売する会社だという。

2016年～21年にかけて、Unicat Catalyst Technologies は、イランやベネズエラの顧客に製品を販売していたという。

OFACの発表文では、「2020年5月にベネズエラの政府系企業 Venezolana Orinoco Iron S.C.S.に触媒製品を販売していた」と具体的な違反事例を挙げている。

### 「非石油部門の輸出促進措置 1年間延長」

マドゥロ政権は、非石油分野の輸出促進を目的とした手続き簡素化措置を1年間（2026年6月9日まで）延長すると発表した。

この簡素化措置は、2021年6月に開始された措置。

ベネズエラは品目によって輸出前に管轄官庁の許可を得る必要がある。

例えば、特定の農産物を輸出する際は、食糧省や漁業・養殖省など管轄官庁から許可を得る必要がある。

こういった手続きが輸出の阻害要因になっているため、一部の手続きが簡略化される政令が2021年に発行された。

どの品目でどのような手続きが簡略化されたかなど具体的な内容は2021年6月9日付「[官報第42145号](#)」に掲載されている添付内容を確認されたい。

## 「トルコにてベネズエラ展示会を開催」

6月16日～17日にかけて、マドゥロ政権は、トルコのイスタンブールにてベネズエラ展示会を開催した。

同展示会では、ベネズエラの観光資源や伝統料理の紹介に加えて、コーヒー豆、カカオ、タバコ、アボカド、とうがらし、花、コクイ、ラム酒、手工芸品なども展示されたという。

Leticia Gómez 観光相は、「この展示会を通じて、トルコ企業約150社がベネズエラとの取引に関心を示した」と展示会の成果を説明している。

また、同展示会にてベネズエラ企業とトルコ企業は3件の商談を成立させ、7件の具体的な商談意思表明を得たという。

成立した3件の商談は漁業系の取引。漁業・養殖省の José Gregorio Briceño 次官の説明によると、3件の商談の合計取引額は3000万ドルになるという。

## 「OPEC 5月産油量は日量106.6万バレル」

OPEC は、加盟国の25年5月の産油量を更新した。

ベネズエラ石油省が OPEC に報告した5月の産油量は、先月から日量1.5万バレル増えて日量106.6万バレル。

5月27日 トランプ政権は Chevron の制裁ライセンスを失効させたが、同月の産油量は上昇したことになる。

Table 5 - 8: OPEC crude oil production based on direct communication, t/bd

Direct communication	2023	2024	3Q24	4Q24	1Q25	Mar 25	Apr 25	May 25	Change May/Apr
Algeria	973	907	909	908	909	909	912	920	8
Congo	271	260	264	265	260	263	270	268	-2
Equatorial Guinea	55	57	57	58	56	53	48	45	-3
Gabon	223	..	..	..	..	..	..	..	..
IR Iran	..	..	..	..	..	..	..	..	..
Iraq	4,118	3,862	3,897	3,731	3,667	3,637	3,664	3,605	-59
Kuwait	2,590	2,411	2,413	2,404	2,406	2,413	2,413	2,420	7
Libya	1,189	1,138	936	1,252	1,386	1,373	1,367	1,366	-1
Nigeria	1,187	1,344	1,344	1,435	1,468	1,401	1,486	1,453	-33
Saudi Arabia	9,606	8,955	8,970	8,935	8,941	8,958	9,005	9,184	179
UAE	2,944	2,916	2,933	2,884	2,906	2,903	2,911	2,930	19
Venezuela	783	921	933	982	1,035	1,048	1,051	1,066	15
<b>Total OPEC</b>	..	..	..	..	..	..	..	..	..

Notes: .. Not available. Totals may not add up due to independent rounding.  
Source: OPEC.

ただし、OPEC の第3者専門家の調べによる5月のベネズエラ産油量は日量89.6万バレル(暫定値)。先月の日量92.8万バレルから3.2万バレル減少したとしている。



(写真) ベネズエラ観光省

Table 5 - 7: DoC crude oil production based on secondary sources, t/bd

Secondary sources	2023	2024	3Q24	4Q24	1Q25	Mar 25	Apr 25	May 25	Change May/Apr
Algeria	969	905	903	904	909	912	912	921	9
Congo	261	254	254	255	258	258	259	253	-6
Equatorial Guinea	57	57	58	59	59	58	55	62	7
Gabon	213	224	222	231	226	225	221	233	12
IR Iran	2,884	3,257	3,316	3,290	3,307	3,323	3,328	3,303	-25
Iraq	4,265	4,163	4,217	4,015	3,998	3,988	3,979	3,930	-50
Kuwait	2,595	2,429	2,433	2,422	2,415	2,422	2,418	2,424	6
Libya	1,153	1,092	904	1,183	1,285	1,272	1,265	1,302	36
Nigeria	1,337	1,425	1,427	1,485	1,518	1,483	1,522	1,544	22
Saudi Arabia	9,618	8,979	8,977	8,962	8,949	8,962	9,006	9,183	177
UAE	2,954	2,950	2,970	2,947	2,939	2,938	2,946	2,973	27
Venezuela	760	868	892	908	926	933	928	896	-32
<b>Total OPEC</b>	<b>27,065</b>	<b>26,603</b>	<b>26,573</b>	<b>26,661</b>	<b>26,789</b>	<b>26,774</b>	<b>26,838</b>	<b>27,022</b>	<b>183</b>

(写真) OPEC

以上